



# 造影 CT 検査を受けられる方へ

## 1. 造影 CT 検査とは

造影 CT 検査とは、造影剤(ヨードを含む薬)を血管内に注射しながら行う CT 検査です。

造影剤を使用することにより、病変の存在や性状などがより詳しく描出され、あなたの病気の早期発見や診断、治療方針の決定などに大いに役立ちます。

## 2. 造影剤の副作用

検査に際しては、極力安全に検査が行われるように努めておりますが、検査中あるいは検査後しばらくしてから下記のような副作用が起きることがあります。

- 軽い副作用(頻度は1～3%以下)

  - 吐き気、嘔吐、頭痛、めまい

  - じんましん、発疹、かゆみ、手足のむくみ、発熱、せき など

- 重い副作用(頻度は約 2,500～25,000 人に1人)

  - まれに呼吸困難やショックなどの重篤なアレルギー症状を生じることがあります。

  - きわめてまれですが死亡例も報告されています。

- 造影剤の血管外漏出

  - CTでは造影剤を自動注入器を用いて高圧で血管内に投与しますが、きわめてまれに造影剤が血管外に漏れることがあります。

## 3. 副作用に対する対応

検査中は放射線科のスタッフが常にあなたの状態を観察していますので、上記のような副作用を生じた場合は、直ちに最善の処置をいたします。検査終了後、数時間から数日後に何らかの異常が現れた場合には、診療時間内は下記放射線科まで、時間外、休日の場合は救急室にご連絡ください。

**\* 下記に該当される方は造影剤が使用できない場合がありますので事前に主治医にお伝え下さい**

- 過去にヨード造影剤に過敏症の既往歴のある方

- 気管支喘息などのアレルギー歴のある方

- 甲状腺機能亢進症のある方

- 腎機能が低下している方

- ビグアナイド系の糖尿病薬を飲まれている方(原則、検査2日前から検査2日後までの休薬が必要)

連絡先: JR広島病院

放射線科 082-262-1178 (平日 8:30～17:15)

救急室 082-262-1450 (平日上記時間外または休日)